



ABC RADIO TIME TABLE プロ野球2026 虎バン大考察



平田瑛美

朝日新聞トラ番記者



寺尾博和

日刊スポーツ編集委員



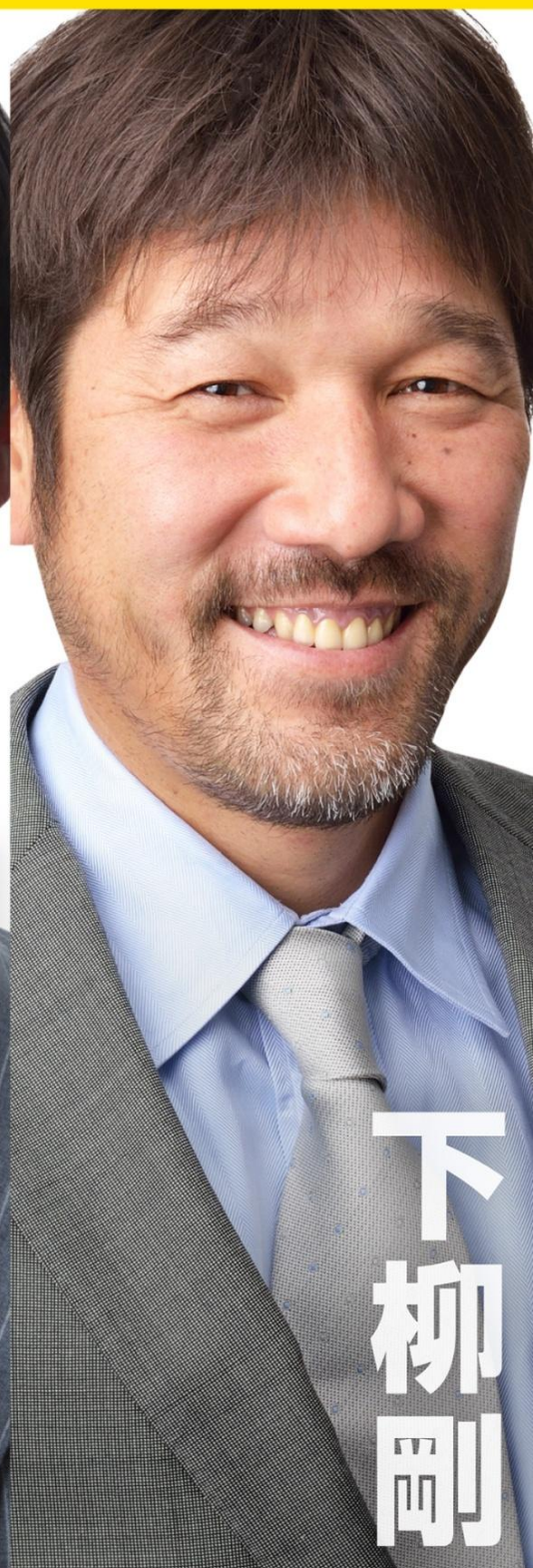
濱中治



関本賢太郎



松山進次郎



下柳剛

阪神戦力
チェック!

セ・リーグ順位予想

プロ野球
解説・記者・実況が
大予想！
外れたらごめんの
セ・リーグ
パナントレース
順位予想 &
注目選手
※本予想は2026年1月時点のものです

下柳剛

セ・リーグ順位

1	阪神
2	DeNA
3	広島
4	巨人
5	中日
6	ヤクルト

注目選手

及川雅貴 投手
大山悠輔 内野手

松山進次郎

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	広島
4	DeNA
5	巨人
6	ヤクルト

注目選手

佐藤輝明 内野手

関本賢太郎

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	DeNA
4	巨人
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

6番ショート

濱中治

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	巨人
4	DeNA
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

大山悠輔 内野手

寺尾博和

セ・リーグ順位

1	阪神
2	巨人
3	中日
4	DeNA
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

佐藤輝明 内野手

平田瑛美

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	DeNA
4	巨人
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

才木浩人 投手

中邨雄二

セ・リーグ順位

1	阪神
2	DeNA
3	中日
4	巨人
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

高橋遥人 投手

伊藤史隆

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	巨人
4	広島
5	DeNA
6	ヤクルト

注目選手

キャム・ディベニー 内野手

小縣裕介

セ・リーグ順位

1	阪神
2	巨人
3	広島
4	中日
5	ヤクルト
6	DeNA

注目選手

近本光司 外野手

山下剛

セ・リーグ順位

1	阪神
2	巨人
3	広島
4	中日
5	DeNA
6	ヤクルト

注目選手

10ゲーム差以上
前川右京 外野手

高野純一

セ・リーグ順位

1	阪神
2	巨人
3	DeNA
4	中日
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

森下翔太 外野手

福井治人

セ・リーグ順位

1	阪神
2	中日
3	DeNA
4	巨人
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

下村海翔 投手

寺田健人

セ・リーグ順位

1	阪神
2	DeNA
3	中日
4	巨人
5	広島
6	ヤクルト

注目選手

木下里都 投手

山本大喜

セ・リーグ順位

1	阪神
2	巨人
3	中日
4	DeNA
5	ヤクルト
6	広島

注目選手

木下里都 投手



今年のタイガースはどんなチームになるのか。投手陣の充実ぶり、打線の進化、新戦力の可能性、現場を知り尽くす3人が、それぞれの視点で今季の力ギを語ります。

Special Interview

タイガースの最大の強みといえば投手陣。先発、救援ともに層の厚さはリーグ屈指。その中で、今季チームの行方を左右するキーマンたちは誰なのか――

平野 僕が挙げるキーマンは、及川雅貴投手と湯浅京己投手です。中でも及川投手は18試合連続ホールドのプロ野球新記録を樹立し、藤川球児監督らの記録を上回ったことも嬉しかったですし、防御率0.87、66試合登板と文句なしの成績で、7回、8回の絶対的な存在でした。

そんな及川投手が「ラジオで虎バン！」に出演し、解説者の下柳剛さんとともにトーク。その中で、平野アナが驚くほどの強い思いを感じ取ったという。

平野 念頭にあるのはおそらく最優秀中継ぎ賞だと思えますが、それにどまらず、先発転向で勝利を重ねることや防御率へのこだわりなど、まだまだ高い野心を感じました。

佐藤 先発転向の話をしたってこと？

平野 いえ。本人は「先発も含めて何も言いません」というスタンスで、具体的な話があったわけではなく、私が肌で感じ取っただけです。抑えや中継ぎ、先発も含めて、今後どんな役割を担っていくのが楽しみです。



及川投手は抑えも視野に入れていえると思われるものの、その点についても「何も言いません」とかわされた平野アナ。

一方の湯浅投手は22年に大ブレイクし、ワールド・ベースボールクラシック(WBC)にも選出されたが、23年には国指定の難病に罹患したことを発表。復活を期して臨んだ昨シーズンは、計40試合に登板し、2年ぶりのリーグ制覇に貢献した。

何度も苦難を乗り越え、復活してきた姿を知る北條アナは、高橋投手に試合だけでなくチーム全体への影響も期待しているという。

北條 30歳を迎えると後輩も増え、怪我で苦しむ若手へのアドバイスも高橋投手が中心になる場面が増える。石井投手とともに、高橋投手がチームの柱として支えてくれる存在になってくれたら、タイガースはもう数年、盤石なのではないかと。

昨季のタイガース打線は、1番から5番までほぼ固定で、上位打順の安定感が光った。一方で、ショートやレフトの守備は定まらず、打線全体のバランスに課題を残した。今季、打順やポジションの変動がチームにどう影響するのか、野手についても聞いた。

平野 スバリー5番・大山悠輔選手をキーマンに挙げたいです。新人合同自主トレの際、藤川監督も「5番は大山選手」と明言していました。昨シーズンは前を打つ森下翔太選手、佐藤輝明選手の結果を見ながら打っていました。このオフ、大山選手も、後輩である2人への信頼や、自身の打撃成績へのこだわりを話しており、来季はより一層の活躍を期待できます。ホームランや打点にもこだわり、甲子園での放物線やガッツポーズも見たいところ。最強クリーンアップで、令和のバックスクリーン3連発に期待したいです。

佐藤 小幡電平選手にはショート争いで、ゴールデングラブを獲ってほしいですね。石井投手がピンチを背負った際に、ファインプレーで支えた守備力は圧巻です。打撃面でもホームランを増やすなど成長が見えます。このままショートで抜けた活躍を見せれば、残るのはレフトだけで、ベストナインもゴールデングラブも阪神で埋め尽くされるかもしれません。

北條 個人的には2番中野拓夢選手が力ギだと思っています。2番が機能しないと点が入らない。

平野 本場に「ファンとしてうれしく思いますし、多くの困難を乗り越えてきたのだと感じました。その姿に心を打たれました。」北條 何より、ただ投げただけでなく、本人が目標としていた40試合にしっかりと届いて、球団のサポートもあって、ファンにとっても嬉しいシーズンになりましたよね。

平野 湯浅投手はピンチで登板する場面も多く、藤川監督の起用法からも期待の高さがかがえます。普段は朗らかな性格ですが、マウンドでは表情を引き締め、しっかりと抑える姿が印象的です。来シーズンも、新しい体になったと話す湯浅投手には、さらに高いパフォーマンスとインパクトある活躍を期待しています。

秋田出身の佐藤アナは、何かと同郷に對して強い感情を抱くという。そんな彼が挙げたのは――

佐藤 やっぱ石井大智投手ですね。個人的な思いが9割くらい入っていますが、同郷で、プロ入りの経緯やこれまでの活躍も含めて強く感情移入してしまう選手です。日本シリーズでソフトバンクの柳田選手に打たれた場面も放送席で実況していたのですが、言葉を失うほどショックでした。



石井投手が打たれたときの状況は「石井が失点……」。そこからしばらく言葉が続かず、感情があふれていた。

佐藤 昨シーズンは三振が取れなかったと本人も話していて、奪三振率は24年の10.73から25年は7点台に低下。球速が上がらず、一昨年のようにストレートで押さなかつたそうです。そのためオフは体重増加や筋力強化に取り組み、球速維持を目指しています。変化球では空振りが取れているので、ストレートでの奪三振に期待しています。

北條 誰よ!? 最初に及川投手と湯浅投手を挙げたのは！平野 失礼しました(笑)



続いては野手。一瞬で流れを変える守備やホームランが光る選手に惹かれると思いきや、派手さだけではない巧みさや工夫、簡単には終わらせない姿勢で魅せる選手に心を奪われるそう、それは――

平野 盗塁です。走るのが好きだった僕にとって、赤星憲広さんの盗塁は憧れでした。子どもの頃は背番号53の赤星さんのプレーを見るためにプロ野球中継を見ていました。昨シーズンのラジオで一緒に、盗塁の奥深さを知り、タイミングや走塁の難しさを実況で正確に伝えられるアナウンサーになることを目指したいと思いました。

北條 簡単に終わらないバッターです。配球の妙を解説の方と確認しながら進めると、目の前の選手との駆け引きも楽しめますし、初球打ちの面白さも出てきます。ホームランや大きい当たりも楽しいですが、やはり駆け引きを堪能できるのが実況の醍醐味で、実況アナウンサーとしてどう伝えるかが試されますね。

最後に「ABCラジオは虎バン主義!」阪神タイガースをとことん追いかけるラジオ局として、他局とはどこが違うのか聞いてみた。

高専卒、独立リーグ、ドラフト支配下最下位指名からはい上がってきた右腕が、3月のWBCに出場する侍ジャパンのメンバーに初選出された。

佐藤 WBCや日本シリーズを戦い抜いた疲労も懸念されますが、「タイトルを取る」と明言する石井投手の今後に期待したいです。将来的なメジャー挑戦も言葉にされていますし、初の秋田県出身メジャーリーガーに……。石井さん、頑張ってください!以上です。

3人の中で最年長の北條アナは、中継ぎを挙げた平野アナと佐藤アナとは対照的に、9年目で度重なる故障を乗り越え、昨シーズンの7月に完全復活を果たした先発投手を挙げた。

北條 高橋選手投手のフルシーズンを戦う姿を見てみたい。これは一人のファンとしての願いです。去年、話を聞いたときも、球のキレやストレートの勢いにまだ納得できていない様子でしたが、それでも抑えていたのはさすがでした。オフからしっかりと取り組んでいるとのこと、26年のシーズン前半、もし投げ抜けたら、いよいよ、完全体の高橋選手が見られるのではと期待しています。チーム全体にも良い影響を与える存在になると思っています。



「高橋投手のフルシーズンを見届け、オフにはぜひラジオに話することが多く、毎日でも来てほしい」と熱く語る北條アナ。

北條 甲子園はここ数年、毎試合4万人を切らない特別な球場で、盛り上がるのはやはり三振やホームラン。そういう意味でも、先発で高橋投手が戻ってくることはカード全体の流れを左右する存在になると思います。個人的には、中継ぎがたくさん使える日曜日に投げてくれるイメージを勝手に描いています。

北條 実況アナのバリエーションが多く、同じ解説者でも組み合わせ次第で全く違う展開になります。年代や個性の違うアナウンサーがいることで、放送の幅も広がり、学びの場にもなります。そこが大きな強みだと思います。平野 皆さん野球が好き。解説者との会話を、実況アナ自身も楽しんでいて、公私にわたる関係性が生み出す独特の空気はABCラジオならではの良さだと思います。

佐藤 視聴者の方からいただくのは、情熱というか思いと言いか、「ABCラジオ好きやねん」という声です。それは多分、阪神だけでなく夏の高校野球も含めたABCの野球中継の印象なのでしょう。私もそういう空気が大好きですから、先輩方が作り上げてきた空気を、今も背中を追っている状況ですね。

天然なリアクションで現場の熱を届ける

Kotaro Hirano
平野康太郎 (26)
1999年7月17日生まれ 入社4年目 大阪府大阪市出身「ラジオで虎バン!!」火曜日担当。陰るような相づちが実況のクセで、好プレーには感情が先走る熱量型。オフは大阪城公園を走って気持ちを整える。

落ち着いた語り口に芯の強さが滲み出る

Eisuke Hojo
北條瑛祐 (35)
1991年1月14日生まれ 入社13年目 兵庫県明石市出身「ラジオで虎バン!!」水曜日担当。温泉・サウナ好き。判断は常に冷静で、安定感のある進行で現場を支える一方、鋭い視点と高い分析力で試合の動きを的確に読み解く。

地元愛の熱量でドラマを伝える進行巧者

Shuhei Sato
佐藤修平 (30)
1995年8月24日生まれ 入社8年目 秋田県大仙市出身「ラジオで虎バン!!」金曜日担当。同郷の選手には感情移入が強く、癖のあるパーソナリティをうまく転がしながら、番組をリズムよく盛り上げる腕も持つ。

